

# 「理事長声明」にもとづく、学院の改革への取り組み

青山学院は、21世紀の青山学院のあるべき姿、進むべき道を明らかにするために、

青山学院教育方針と青山学院スクール・モットーを基盤とした

「21世紀の青山学院が目指すもの～伝統の中での新生・青山学院の新たな出発～Re-creation and Transformation～」をテーマとした

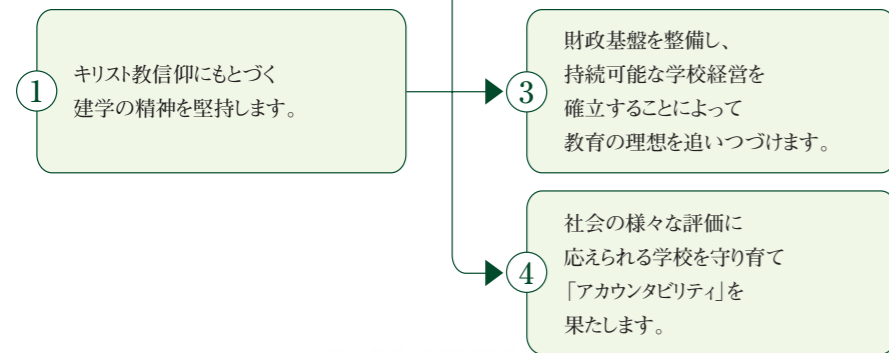
「アカデミック・グランドデザイン」を2006年11月に制定しました。

昨年、創立135周年を迎えた青山学院は、この年を「改革の幕開けの年」と位置づけて、

「理事長声明」として、「アカデミック・グランドデザイン」で示した内容を包括した174項目の課題を掲げて、全学的に取り組んでいます。

## 「青山学院の4つの約束」

取り組む際に念頭におかなければならないのが、キリスト教信仰にもとづく建学の精神を基本とした「青山学院の4つの約束」です。



## 青山学院の掲げる3つの「命題」とそれぞれの柱となる「課題」

- ① 人間教育の再創造
- ② 環境の整備
- ③ 戦略の強化

### 取り組みへの体制

これらの課題については、幼稚園から大学までの各学校が次年度の事業計画を立てて、進捗を管理し、責任を持って計画を遂行し、その結果を踏まえて次のステップへ繋げていく、組織的PDCAサイクルの確立を目指しています。

## I. 人間教育の再創造

### 1. キリスト教教育の促進

建学の精神の根幹を成すキリスト教教育促進のため、園児・児童・生徒・学生そして保護者、教職員がキリスト教に触れ、親しむ機会を増やしていけるよう各学校で取り組みを行っています。

### 2. 教育力の向上

青山学院が目指すキリスト教を基盤とした教育と、社会・時代の要請に応じていける教育力を各学校が充実・堅持していくために、各学校で取り組みを計画しています。

### 3. 一貫教育の充実

青山キャンパスに幼稚園から大学・大学院までを擁する特性を最大限に活かし、青山でしか実現できない一貫教育の充実に向け、下記の取り組みを推進します。

- 1) 青山学院チャットルームの参加者拡大
- 2) 「一緒に遊ぼう会」の充実
- 3) 4-4-4制英語一貫教育の実践
- 4) 導入教育・接続教育の拡大

### 4. 大学院教育の充実と研究機能・社会連携の強化

教育・研究の活性化と充実をはかるため、研究学術等の推進と社会への還元を目指して、取り組みを推進します。

### 5. 国際交流の活性化

大学では、2009年にグローバル化推進プロジェクトチームが発足し、国際交流強化に向けた体制が整いつつあります。2010年度は、大学のグローバル化を促進するためのグランドデザインの作成とグローバル化の諸政策を策定し実施を目指します。

## II. 環境の整備

### 1. 青山キャンパスの再開発

「伝統と未来が出会う、緑と文化溢れる空間」「安全・安心な教育環境」「サステナブル(持続可能)なキャンパス運営体制」という3つの方針のもと、21世紀に相応しい魅力と特色のある総合学園を可能にするため、青山キャンパスの再開発事業を進めています。

紀に相応しい魅力と特色のある総合学園を可能にするため、青山キャンパスの再開発事業を進めています。

- 1) 再開発グランドデザイン
- 2) 大学A棟(仮称)の建設
- 3) 高等部校舎の建て替え

### 2. 学生への支援

青山学院では、昨今の社会・経済状況に対応し、学生が安心して学業に励み、将来を考えることができる環境を整備するために、下記の計画を中心に学生支援を続けていきます。

- 1) 奨学金の拡充
- 2) 進路・就職支援

## III. 戦略の強化

### 1. 危機管理

複雑化する社会のしくみから大切な情報を守り、また園児・児童・生徒・学生と教職員の安全を確保するため様々な取り組み・対応を行う中、2010年度は下記の取り組みを推進します。

- 1) 情報セキュリティの強化
- 2) 安全確保

### 2. 公開講座の充実

### 3. 青山学院アスタジオ運用の充実

### 4. 愛校心の育成

### 5. 組織・体制の強化

135年にわたり多くの先人が築いてきた学院の伝統を守りつつ、学校を取り巻く環境の変化に対応し、新たな時代を生き抜いていくために、学院は様々な面において体制の強化・整備に取り組んでいます。

- 1) 広報体制の強化
- 2) 新募金体制の発足
- 3) 課題推進体制の強化
- 4) 情報系の整備

## 2010年度 学校法人青山学院事業計画 基本方針

- ・ 青山学院の教育の基本となるキリスト教について、学院に関わる一人ひとりの理解を深め、各設置学校が掲げる教育理念に基づいた教育の実現を図る
- ・ 青山学院の教育の柱を形作る国際理解教育(特に英語教育)と一貫教育を充実させる
- ・ 厳しい社会状況に直面する学生への支援を強化する
- ・ 教育環境を整備し、「キャンパスの安全・安心」に努める
- ・ 学院発展のため、組織・体制の強化を図る



### 就学キャンパスの再配置に伴い、青山キャンパスに新校舎「大学A棟(仮称)」が誕生。

2012年4月より、人文・社会科学系7学部1・2年生が青山キャンパスで学ぶこととなります。それに伴い新校舎「大学A棟(仮称)」が2012年に竣工予定。新しい拠点として、より充実した教育研究、学生生活の場が誕生します。



### 優れた機能性を備えた新校舎「大学A棟(仮称)」2012年に竣工予定

- 学生の自由な交流の場となるロビー
- 機能性を重視した教室、ゼミ教室、研究室
- 明るく楽しみながら食事ができる学生食堂
- 教学系の事務室が集約されるスチューデントセンター など

「大学A棟(仮称)」は、青山学院記念館と1号館の間に位置する、およそ4,000㎡の敷地(元 大学テニスコート、12号館等)に建設されます。

### 「青山学院アスタジオ」誕生

2009年9月、青山の地に文化の創造、発信の基地として「青山学院アスタジオ」が誕生しました。地下1階に多目的ホール、1階にはNHKのサテライトスタジオ、2階には大学総合文化政策学部「青山コミュニティラボ」、3・4階には貸し事務所が入り、今後、カフェテリアが入る予定です。



### 2010年3月、高等部の西校舎が完成

「青山キャンパス再開発」の一環により、高等部でも2008年8月から校舎の建て替えに着手しています。工事は3期に分かれて実施されますが、2010年3月に西校舎が完成し、4月から新校舎での学びがスタートしました。今後、北校舎とPS講堂が2012年3月、体育館が2014年12月に完成する予定です。



高等部校舎完成予想図